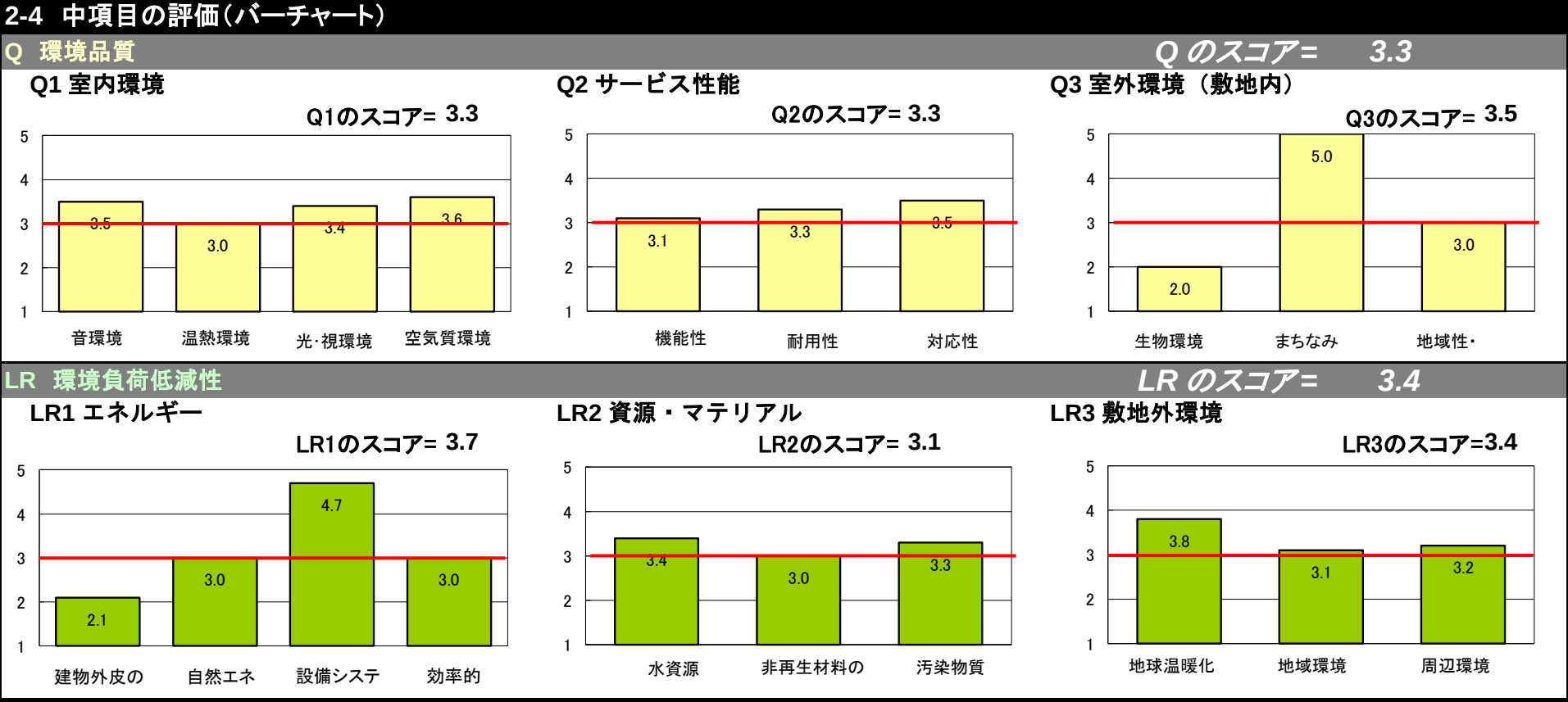
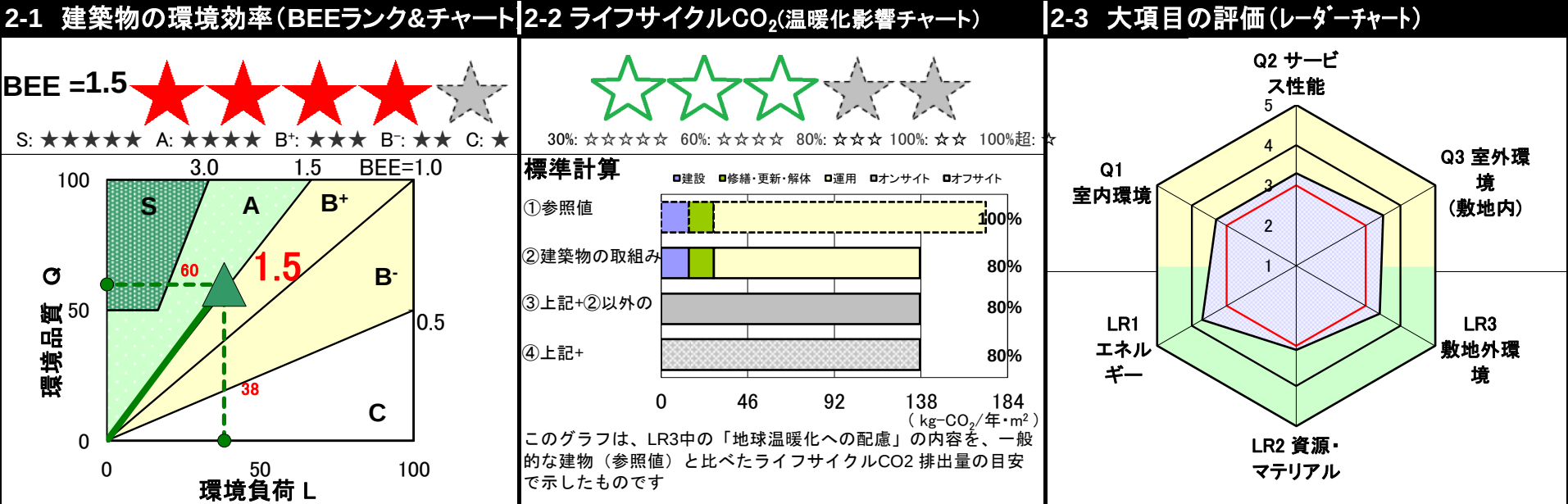


評価結果



1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島二葉の里プロジェクト			階数	地上20F
建設地	広島市東区二葉の里三丁目8番7			構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域			平均居住人員	1,830 人
気候区分	6地域			年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所,ホテル,工場,等			評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定			評価の実施日	2016年7月25日
敷地面積	6,339 m ²			作成者	松本拓也
建築面積	3,209 m ²			確認日	2016年7月26日
延床面積	49,710 m ²			確認者	定森淳一



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.4		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.6	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 2.6	「長寿命化対策」の推進 スコア= 3.4
設計の計画上特段に配慮した事項 // ・LED照明等の高効率設備機器を採用// ・節水型水栓に加え、節水型便器の採用 ・鉄骨造-躯体と仕上材が容易に分別可能、OAフロアの採用// ・LCCO ₂ 排出率=80%	設計の計画上特段に配慮した事項 // ・附置義務台数を満たす駐輪場の確保、敷地内にバス乗降場、バス待合ステーションを計画、)附置義務台数を満たす駐車場の確保、自動車動線計画への配慮	設計の計画上特段に配慮した事項 ・制振オイルダンパー、座屈拘束ブレースを採用 ・物販：磁器質タイル20年,事務所：タイル+ベッ ト20年,ホテル：タイル+ベッ ト20年 ・屋外露出ダクトにガルバリウムダクト採用 ・空調給排水管は、上位3種がB以上、Eは不使用// ・バックアップスペースの確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される